

2023年度個別公表1例目  
レベル3bの個別公表  
事例

発生場所	公立世羅中央病院
発生日	2023年7月11日
患者の年代	80代
患者の性別	女性
患者の居住地	県内
事故の概要	カルテに禁忌登録されているキシロカイン注射薬「1%」エピレナミン含有を処置時に使用し血圧が低下した。
発生状況・結果の概要	末梢血管細くルート確保困難であるため、急遽救急外来で中心静脈カテーテル挿入した。その際の局所麻酔としてキシロカインを使用した。処置前は血圧90代だったが処置後血圧が50代と低下し、昇圧剤やステロイド剤投与が必要となった。
原因	医師は、カルテで禁忌薬を確認していたが、処置時に失念した。処置に付く看護師と情報共有していなかった。 患者様は来院時、苦痛が強く大声を出され、手足を動かし、もがかれており会話が困難な状態であった。 家族が来院していなかったが、急を要する状態であり、すぐに処置・検査が必要と判断し、家族の到着を待てなかった。
再発防止策	<ul style="list-style-type: none"><li>・禁忌登録の薬剤の処方を行うと、システムで処方できない設定になっている。</li><li>・受診時に必ず、医師・看護師・医師事務はカルテ画面を、確認し禁忌薬がある場合、読み上げて情報共有しておく。</li><li>・キシロカインのシリンジ・バイアルに、薬剤部で「禁忌注意」のシールを貼付しておく、薬剤部から払い出した後、各部署で「禁忌薬確認」のシグナルを付け、使用前にアレルギー登録を再確認する。</li></ul>